



北川邦彦さんに聞く

一より良いまちをつくる 認知症当事者からの メッセージ

2021年8月11日

講師

介護・認知症の家族と歩む会世話人代表

@kazokutoayumukai

北川邦彦さん

インタビュアー

若者文化研究所

西村美東士

これまでの 歩み



2004年まで（63歳まで）（6年間）

認知症の母親介護

2004年 脳梗塞、心筋梗塞発症。半身まひで失語。

2007年 重度認知症発症

2008年 聖徳大学通信教育部社会福祉学科入学

2016年 視野の左側が見えなくなる。

車いすの生活を送る。

現在：多くの仲間を支えられ、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症当事者として活動中。

現在80歳

これまでの歩み

現在の症状



幻視で疲れる。
徘徊の原因かも。
過度の自己防衛？
何で悩んでいるかをわ
かりあうことが大切。

ビデオ20分

現在は、
どのような症状ですか？

① 幻視は避けられないが、それが幻視であることを認識していて、見えている人も本当はいないこと、近所の景色も本当は変化していないことを知っている。

② 自身の苦しい体験と向かい合うとともに、これまでの他の認知症患者やその家族との交流を振り返り、「徘徊」に関する新しい解釈を取り入れ、視野を拡大している。

③ 声を詰まらせたのは、周りの人の「無関心」や「偏見」についてである。自らの症状よりも、そこに絶望と葛藤があるが、それが地域や社会への能動的関与の動機になっている。

「現在の症状」のポイント

役者を目指した
ころの自分



その人の背景を知らずには語れない。
深みが違う。アクセントも違う。
弱いところをさらけ出せる人が、一番強い。
弱点を隠しおおせる人は悪人。
夢見ていることが、違ってくる。
なんかできそうな気がする。

役者を目指した頃

① 弱みをさらけ出すことによって、相互理解が深まる。

② 深みとアクセント（強調点）が異なることが、個性への理解につながる。

③ 「なんかできそうな気がする」という漠然とした自己肯定感が基本にある。

「役者を目指した頃」のポイント

発症後の暮らしと 考え方の変化



人間関係の変化

見栄、脅し、権力、「基準は金」
の世界から自由になった。

「弱者」を気にかけない世の中への反抗。
本心は自分のためなのか？
地域のためなのか？
今でもよくわかっているわけではない。

認知症を発症したあと
暮らしと考え方はどう変化しましたか？

① 発症後、見栄、権力、金銭などの自分を縛っていた枠組みから自由になる側面もあった。

② 「弱者を気にかけない世の中」への反抗。

③ 活動するのが、「自分のため」なのか「地域のため」なのか、断言できない。

「認知症を発症したあとの変化」
のポイント

社会人入学の理由

学び直しの理由
学問の意義
説明できるようになる。
若い学生仲間とともに。
活動範囲が広がった。

大学に社会人入学されたのは、
どんな理由からですか。

① 学問を学ぶことによって、自分のことなどを説明できるようになる。

② 若い学生仲間と交流できるようになる。

③ 大学内外での交流によって活動範囲が広がった。

「社会人入学の理由」のポイント

学生と接する



祖父に接するように。
影響は重大である。
その人のことを考える。
学生の言葉の奥に何があるかを知る必要がある。

私（インタビュー）の授業に何回かいらっしやって、
学生たちに話をしてくださいました。
そのときどんなことをお感じになりましたか？

① 民俗学の見地からは、現役世代の忙しい父母と違って、文化伝承は祖父母の役割とされる。だが、現在は核家族化が進行しており、北川氏が言うような高齢者と青少年の地域での交流が重要になっている。

② その人に重大な影響を与えることから、責任が重いと感じていた。

③ 相談を受けるときは、（一般的なことではなく）相手の学生個人のことを考えていた。育ってきた環境などを受け入れる必要がある。

「学生と接する」のポイント

今の若者に伝えたいこと

人として生きるということを考える。
青年海外協力隊の若者
東日本大震災のボランティア
彼らの言葉を素直に受け止めるまちづくり
を・・・今は握りつぶされている。
ベンチをたくさん置きたいという若者。
相談を聞いてもらえなかった。
若者には「目的設定など、アプローチを工夫し
よう」と言いたい。

今の若者について感じること、
若者に伝えたいことは何ですか？

① 「今の若者は」というような大ぐくりな否定の言い方はしない。

② 若者の言葉を素直に受け止めようと訴えている。

③ 一方、若者側にも、目的設定など、アプローチの工夫をするようアドバイスしている。

「若者に伝えたいこと」のポイント

まちづくりの人たちへのメッセージ

住んでいる人の声を聞く。
弱者、発言できない人の声を聞く。
誰の声を取り上げるか。
役員のためになってしまっている。
学生から声を拾い上げてほしい。
日本を変えるのは学生。
お年寄りを大事にする世の中に。
いずれこうなるのだから。
ピンクのチラシを作ってみた。

まちづくりの人たちに

フレイル予防ポイント対象事業

ときめいて生きる

8月 笑顔になれる・おしゃべりの時間

人生を変える
「かがみ遊び」「宝探し」体験
素晴らしい自分との出会い



ちょっと 気になる 話題？
◎誰かと話ができる～◎～話を聞いてもらえる◎

日時 8月24日 火曜日 13:00～15:00
会場 パレット柏 (柏駅東口 ドン・キホーテ前 Dayon タワー3F) ルームF
定員(予約可) 12名 参加費 500円 申込問合せ 090-5509-5398(北川)

主催 介護・認知症の家族と歩む会
共催 笑顔の会・きらら 地域パートナー推進協議会

安心して 笑顔で暮らせる 地域づくり
～柏市民公益活動推進基金事業～
協力 千葉県福祉ふれあいプラザ



① まちづくりの活動といえども、「役員のため」になってしまっている場合があると感じている。

② まちづくりの活動家に、弱者や発言できない人の声を聞くよう訴えている。

③ 学生の声を聞き、学生に日本を変える力を期待しているとともに、高齢者を大事にするよう訴えている。

「まちづくりの人たちへのメッセージ」
のポイント

認知症患者に とっての医者



物知りがいいのではない。
ストレートに正しいことを言う、のではよくない。
医者言葉を受け止めるとき、
生地ができていないととてもきついことがある。
医者は人間のことをわかってほしい。
医者は心理学を勉強してほしい。

認知症患者の「敵」に
なりがちな人とは？
医者について・・・

① 人によっては、医者言葉をうけとめるのがきつい場合がある。

② 医者は人間のことをわかってほしいと訴えている。

③ 医者は心理学を勉強してほしいと訴えている。

「医者について」のポイント

認知症患者の にとっての家族



家族ってなんだろう。
言っていることはわかるが、「それができたら苦労しない」。
病気だということを認識してほしい。
患者のほうに気を使ってしまおう。
時間の経過が認識できない。
まわりが早く動くときと、ゆっくり動くときがある。
なんで患者を無視して動くの？
家族がせっかちである。患者に合わせてくれるといいのに。
「理解して」ではなく、想像してほしい。
「病気の人」という距離を置いてほしい。
次元がすれ違うのか？
認知症同士では話が合うのに、家族ではすれ違ってしまおう。
気遣いの不足か。

認知症患者の「敵」に
なりがちな人とは？
家族について・・・

① 家族は、認知症が病気だということを理解する必要がある。

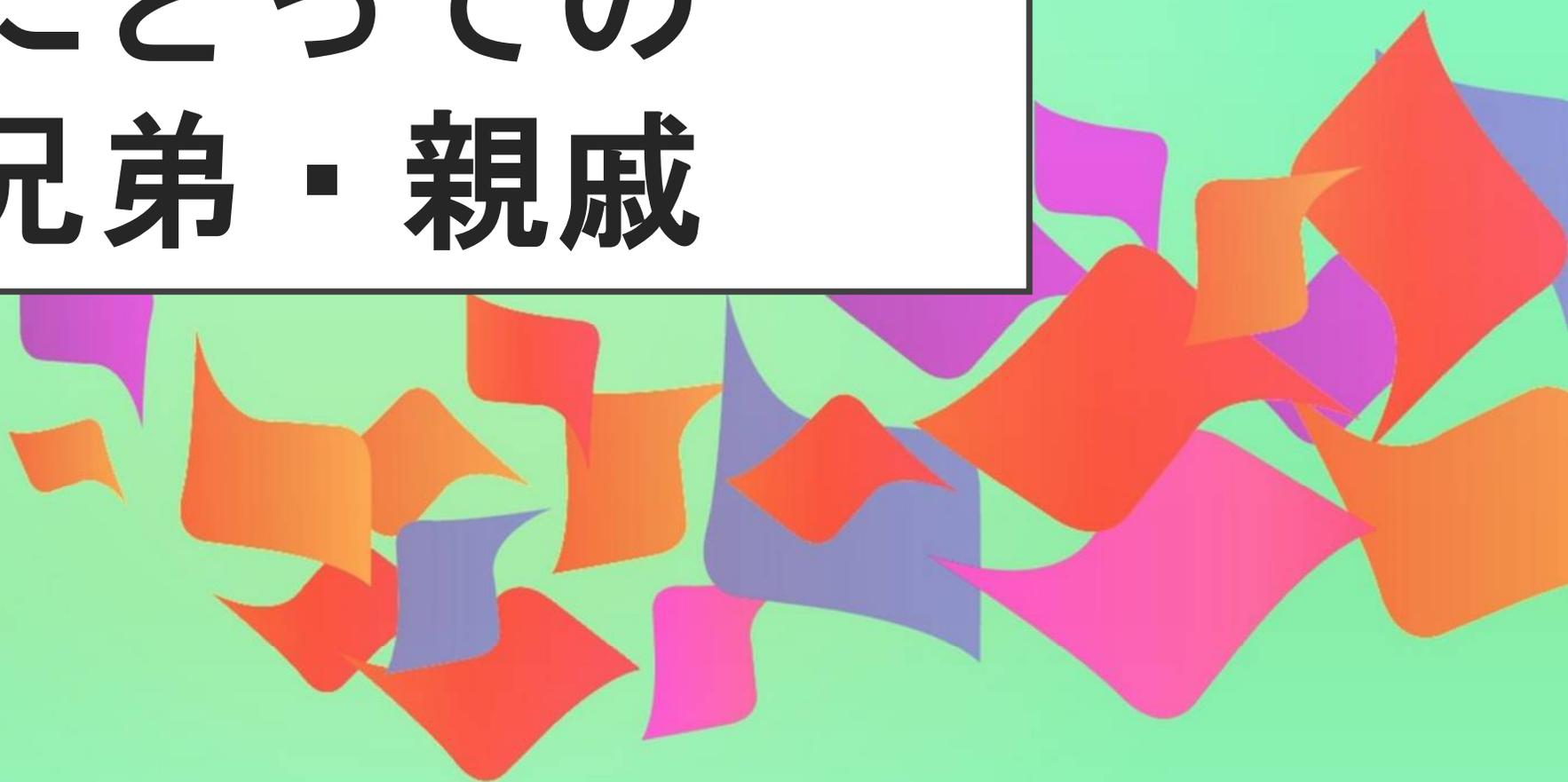
② 「理解」できなくてもよい。「想像」してほしい。

③ 距離を置いてほしい。心情を読み取ることが必要。

④ 家族っていったいなんだらう。味方なのか、敵なのか。

「家族について」のポイント

認知症患者の家族 にとっての 兄弟・親戚



問題が大きい。
相続など、金銭的な問題が生ずる。
それは、今までの人間関係の問題。
メインで介護している人へのプレッシャーがある。
施設にお願いしたほうがよい場合があるが、
親戚が反対する。「金は出すから」と言うが、
「それより介護を手伝いに来いよ」と言いたい。
まわりがなんでフォローできないか。

認知症患者を支える家族の
「敵」になりがちな人とは？
兄弟、親戚・・・

① 金銭関係の問題は、今までの人間関係の問題。

② 施設に入れたほうがいい場合でも、「金は出すから」と言われる。

③ 介護する家族を、周りがフォローすることが大切。

「兄弟、親戚について」のポイント

世間の偏見の目



認知症への誤解。過去の人が誇張して伝えている。
変に伝わる。そして町内だとすぐ伝わる。
敬遠して、うちに来なくなる。
あの人は施設に行ってるらしい、という近所の人のお話。
軽い冗談でも、偏見がある。病気の人を苦しめている。
いやな意味での「関心」を持たれてしまう。
いじめも学校の先生が世間を知らない。
子どもたちをコントロールできていない。

世間の偏見の目

① 認知症への誤解が、町内に変に伝わる。

② 軽い冗談でも、傷つけてしまう。うまくうそをついてほしい。

③ 子どもたちのいじめと同じ。教師はコントロールできない。

「世間の偏見の目について」のポイント

認知症患者を
支える言葉
—病室のカーテン



医者は「目が見えなくなるよ」
掃除する人「今日も煩わしい天気です
ね」と言ってカーテンをしめたままにし
てくれていた。
医者、看護師もそうあってほしい。

認知症患者を支える言葉
(病室のカーテン)

認知症患者を
支える言葉
—コンビニのレジ



レジで患者のおばあちゃんがティッシュペーパーを出したら、「こんな大きいお金だとお釣りがないから、もっと小さいお金はないの？」と言って、財布から小銭を一緒に探してくれた。

そのおばあちゃんは、そのコンビニに毎日のように来ている。

同じコンビニで、アルバイトの高校生が、買い物がおばあちゃんの出した1000円を超えていたので、商品をいつもの安いほうに取り換えてくれた。

認知症患者を支える言葉
(コンビニのレジ)

① 交流分析の言葉でいえば、擁護的な親心（NP）と従順な子ども心（AC）との「相補的交流」が期待される。

② 同時に、患者のプライドを傷つけないように配慮する必要がある。

③ 「上手にだましてほしい」という言葉の意味を考えたい。

「認知症患者を支える言葉」
のポイント

本名公開の理由と影響

① カミングアウトしないと、誤解が拡大する。

② カミングアウトした場合は、弱者叩きに耐えられることが大事。

③ カミングアウトには、認知症への誤解に抵抗する意味がある。

④ 優しい言葉、無理解な言葉で、プライドが傷つけられる。

「本名公開」のポイント

個人情報保護と 情報発信



原則、守るべき。

でも、わかってほしいという気持ちもある。

プライベートをオープンにすることについて。

個人情報保護が行政の隠れ蓑になっている。

「助けて」と言っているのに・・・。

オープンにすることによって、助けてもらえることも
もある。

個人情報を盾にして行政が情報を教えてくれない。

情報がコントロールされてしまっている。

交流の妨げになってはいけない。

人と人とのつながり、助け合いが大切なのに。

若い人との断絶。情報が偏っている。

個人情報の保護について
情報の発信について

① オープンにすることによって、助けてもらえることもある。

② 個人情報を用いて行政が情報を教えてくれない。

③ 個人情報保護が交流の妨げになってはいけない。

「個人情報保護と情報発信」のポイント

愛犬とともに生きる



愛犬とともに生きる
人気者
出会い 散歩の連れ
トレーニング
リハビリのパートナー
動物は心情の読み取りが優れて
いる。こちらを察してくれる。
人間以上に心を読む
元気をもらう
近所とのコミュニケーション

愛犬リキ君とともに生きる



① 動物は人間以上に心を読む。うまいときに甘えてくれる。何も考えずにマッサージしてあげると自分も癒しになる。

② ペットは、近所とのコミュニケーションの仲立ちとなる。

③ ペットは、リハビリのトレーナーにもなる。

「愛犬とともに生きる」のポイント

ポスティングという活動



犬の散歩の時間、ポスティングの効果。
効率から言うと劣るかも。
町会に回してもらうこともある。
マンションだと住んでいる人が想像できない。
門扉のなかまで入ると、想像できる。今は当たる。
その人の生活パターンがわかってくる。
距離感が縮まる。手伝ってくれる人が出てきた。
地域を知るためには、自分で歩かなければいけない。
道ですれ違っても、声をかけられるようになった。
年越しのお金のない人に、
社会福祉協議会でお金を借りれることを教えたこともある。
グチが聞ける。対応してもらえるとという安心感を与える。
個人情報ではあるが、しゃべりたい人はたくさんいる。

ポスティングの威力
ポスティングでの出会い

① 相手の生活パターンがわかってくる。

② 地域を知るためには、自分で歩く必要がある。

③ ポスティングによって対応してもらえるとという安心感を与えることができる。

「ポスティングという活動」のポイント

ビジネスをする 理由





ビジネスにする理由は？

行政に100%「おんぶにだっこ」というボランティア活動は疑問。
申請する側と行政の側の視点の違い。
持ちつ持たれつでやるという意識がない。
自分たちで稼ぐことが大切。
食材を商店街から仕入れて、商店街への弁当宅配をした。
コンビニの商品も受け入れて、自転車で配達した。
庭掃除、草むしり、ガラス窓のふき掃除などの注文を、ヤクルトの販売の人にチェックしてもらった。
行政の補助金は、最高で3年で、ほかの要件がついている。
販売するものを入れられない。
一方で、お金を出し過ぎと覚めることもある。行政のアリバイ作りと覚めることもある。

ビジネスモデルが出てくる。
対価を求める地域活動は悪くない。
地域の人がよくと思ったら、それでよい。
責任感がついてくる。
ふるさと納税は素晴らしい件数だった。
一般の人との距離が近くなる。
「えっ、あの人が」という人からの寄付がある。
荷が重いということはある。
人としてつながって追いかけるための手段。
野草が安曇野での勉強会に広がった。 → 笑顔で暮らせる。
ビジネスとはお金が入ってくること。
「市民活動ですから」と言って逃げられない。
ボランティアの「してあげている」という上から目線。

ビジネスをする理由

① 行政に100%頼ってはいけない。

② 対価を求める地域活動は悪くない。

③ ビジネスは「人としてつながって追いかけるための手段」。

④ ビジネスだと、「市民活動ですから」といって逃げられない。ボランティアであっても、責任をもってやる必要がある。行政のシステムだと切り捨てられることがある。ボランティアの「してあげている」という上から目線もいやだ。

「ビジネスをする理由」のポイント

愚痴や他愛ない話の会

1対1の口コミで信頼関係を築く。
対面で。ただ、固定されてしまう恐れもある。
大きくする気はないが、少なくとも
プライベートで続けていきたい。

だれにしゃべればいいのかわからない人が、
「助けて」というきっかけにしたい。

愚痴や他愛ない話の会が大切

① 1対1の口コミで信頼関係を築く。

② 対面は重要だが、固定化の恐れはある。

③ だれにしゃべればいいのかわからない人が、「助けて」と言うきっかけにする。

愚痴や他愛ない話の会のポイント

徘徊について



認知症の人は目的があって出かけていく。
なんでここに自分がいるのか、わからなくなる。
まわりの子どもが大人になっていることをわからなくなる。
現在は、幻視でまわりの家がわからない。景色が変わってしまう。
優しく見守る → 責められると焦る。
家から出て外で接触することは大切だが、
失敗を指摘されると動きたくなくなる。
負ってきた生活そのものが出てくる。
疲れ以上に興味がある。
若いころの興味はわかってもらえないのと同じ。
本人は楽しく歩いているかもしれない。

患者の徘徊に悩む家族への
メッセージ

① 本人には目的があって徘徊している。

② 外での接触は大事なのに、責められると出たくなくなる。

③ 徘徊は、若い時と同じで、疲れがわからない。疲れ以上に興味がある。

④ あるはずのものが、見えなくて迷子になる。

「徘徊について」のポイント

徘徊について 施設のあり方



鍵をかけていない施設、
認知症患者が出かけようとする、職員がついてきてくれる。
「ついてくる人がいる」という安心感。
他人を怖がらなくなった。
乱暴だった患者さんも大人しくなる。
誰かが声をかけるのを待っている。
何かを変えるきっかけになる。
安全を考えると閉じ込めようとする。→本人は納得できない。
閉じ込められていることを知ると発狂寸前になる、冷静になれない。
対応によっては変化する。おもちゃのペットなど。目が合うようになる。
人間同士ならもっとできる。思い通りにならないから良い。
見たことがないから行ってみたい。その感動をわかってほしい。

患者を閉じ込めようとする施設
患者を温かく見守る施設

① 「ついてくる人がいる」という安心感を与えることが大切。

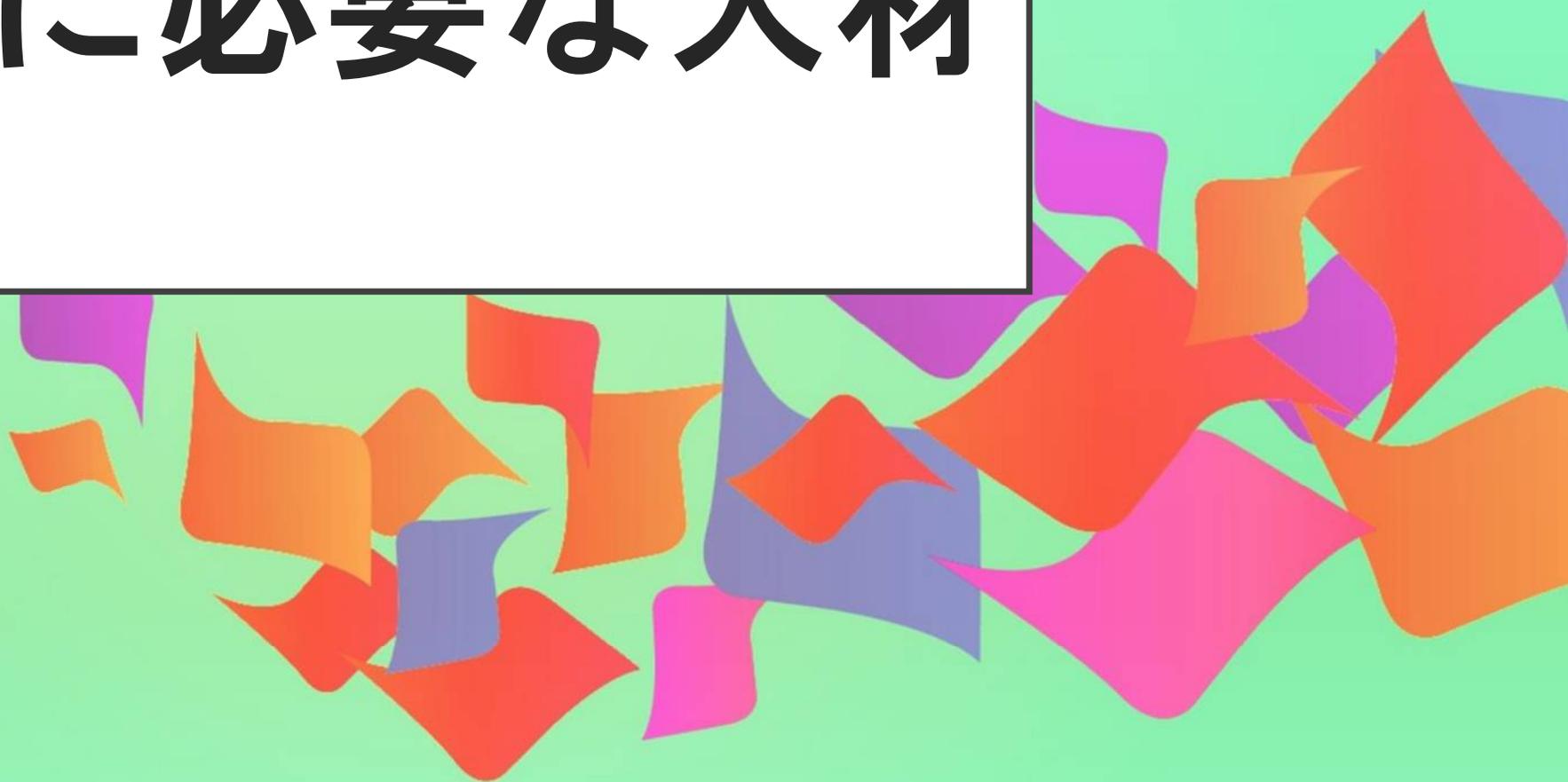
② 徘徊中も、誰かが声をかけてくれるのを待っている。

③ 施設側は安全を考えて閉じ込めようとするが、本人は納得できない。

③ 見たことがないところに行ってみたい。その感動をわかってほしい。

「施設のあり方」のポイント

施設に必要な人材



人を大事にする それをどう表現するか
家族に寄り添うか、本人に寄り添うか 本人に わがまま、不合理
虐待に近い なんのために施設にはいるのか 家族のためではないでしょう
投げ出したくなることも 金銭関係
最後に犠牲になるのは本人
ブラック企業 まあ我慢して
夜勤で気づいた側面

車いすに縛りつける、外からカギをかける、電子ロック
家族は「管理がしっかりしている」ととる
信頼する、敬う、尊重する 黙認しないといけない？
家族、施設の屁理屈
最悪の状況のとき、のどに手がいく、非難は簡単だが、追い込んだのはまわり

施設に必要な人材
ブラック企業からの脱出

① 家族よりも、わがままで不合理でも患者本人に寄り添ってほしい。

② 車いすに縛りつけ、外からカギをかけても、家族は「管理がしっかりしている」ととってしまう。

③ 最悪の状況のとき、介護者は患者ののどに手がいく。非難するのは簡単だが、追い込んだのはまわりである。

「施設に必要な人材」のポイント

皆が幸せに住める
まちづくり



固定観念のない若者に期待したい
親が子を育てる
子に迷惑をかける、とんでもない
卑屈にならなくてすむ

老人施設、クリニック、保育園、地域集会所 国の許可を得たのに

いま立ち直らなければ未来がない

ヤングケアラー 若者の勝手な発想を認める 人づくり
敬う 学校の先生に対しても 自信をもって子育てを
目が輝いている学生 グランパ
若者としゃべる機会をつくってほしい 井戸端会議 江戸時代に戻ろう
たえず気にかけてくれる 人力車で商店街を歩き回る

皆が一緒に住めるまちづくり

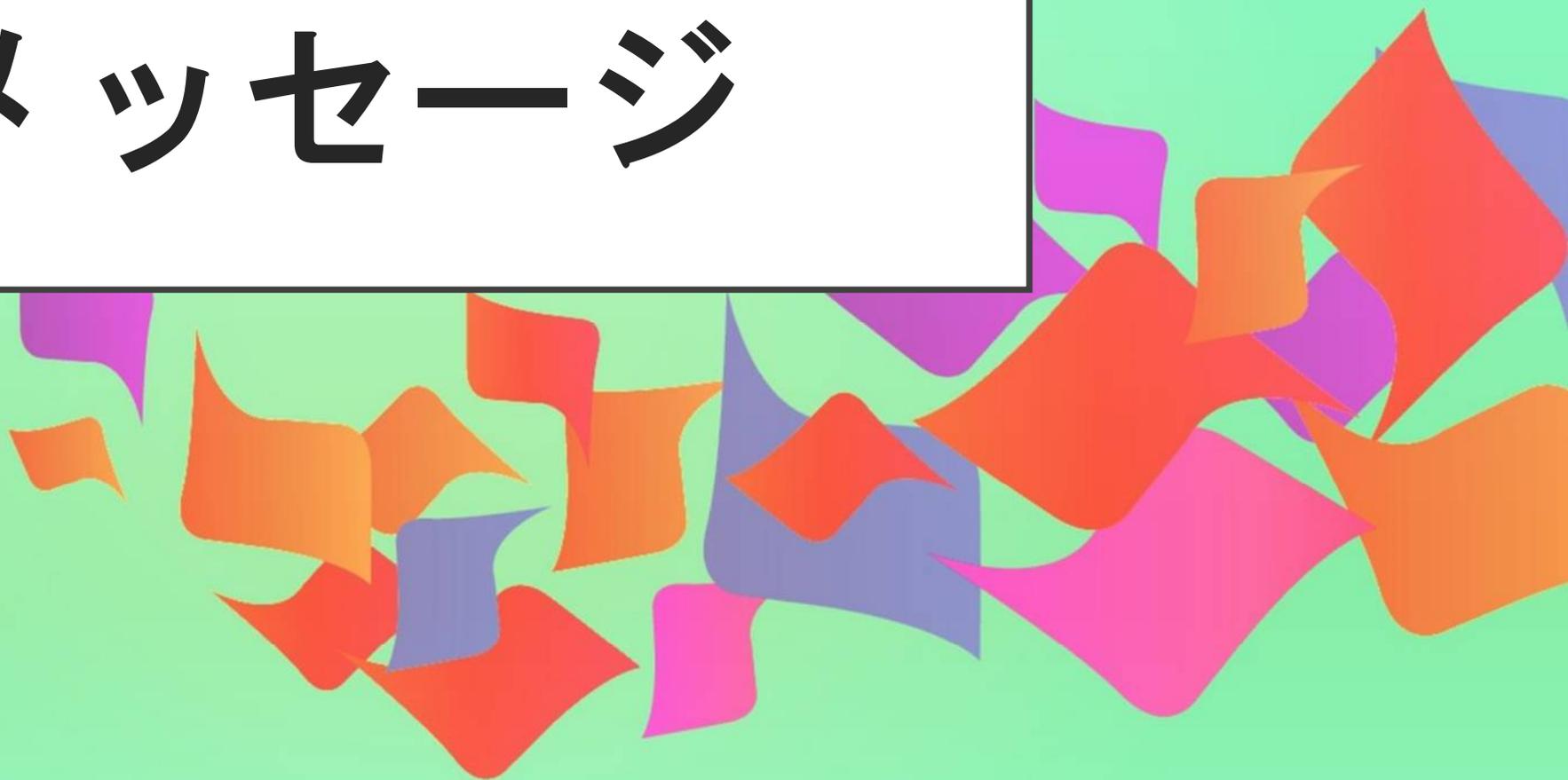
① いま立ち直らなければ未来がない。

② 若者の勝手な発想を認めよう。それが人を育てる。

③ 人を敬うことが大切。学校の先生に対しても。

「皆が幸せに住めるまちづくり」の
ポイント

リーダーへの メッセージ



リーダーは馬鹿になれる人 肌で判断できる能力 人間の直感
見て覚える、そばにいて言動から会得する 皮膚感覚
惚れたからついていく 親分一子分 決して切り捨てない
周りの人たちに育てられる

「セリフを覚えるより、その人の生活、育った環境、を。」
生い立ちを読み取ることによって、セリフを作る

旗を振るパターンの人、支える人を大事にする旗を振る人
スタートで役に立った人を切る そのときの人選
信頼 命を預けられる 修行の場 生年月日まで覚えてくれている
人間は周りの人に育てられる
話すと皮がむける 学生がかわいい

リーダーの種類
旗を振る人、支える人 . . .

① 馬鹿になれる人、肌で判断できる能力を持っている人。

② リーダーシップは見て覚えるもの。そばにいて言動から会得する。

③ 惚れたからついていく。親分子分の関係。子分を決して切り捨てない。

④ 人間は周りの人に育てられる。

「リーダーへのメッセージ」のポイント

コミュニケーション と信頼関係



コミュニケーションは信頼関係から。
信頼関係は、時間は守る（5分前）。
相手の時間を盗むな。相手がいないときに行く。
テクニックだが、名刺、はがきを置いていく。
「どうしたらいいですか」ではなく、「こうしたら」という提案をする。
上下を含めて、思ってもみなかったことを持っていく。
知らないうちに手を回してくれる、てなずける。
「あいつは使える」と思ってもらえる。
挫折して、弱いところを持っている。
有名になってきたな、一人でも知ってくれば。
病気するのはいいチャンス、ますます強くなりますね。
無条件で信頼する理由、100%の信頼。
育てられ方は最大のスケール。

コミュニケーションの方法
信頼関係をどうつくる？

① 相手の時間を盗むな。相手がいなるときに行く。名刺、はがきを置いていく。

② 「どうしたらいいですか」ではなく、「こうしたら」という提案をする。

③ 挫折して、弱いところを持っている。

④ 育てられ方は最大のスケール。

「コミュニケーション」のポイント

まちや社会を
良くしようと
する理由



自分にとって社会とは生活圏 自分が快適に過ごすために
助けて助けられて
発症前から、関わってきた会社がつぶれたり
関わっているところが良くなってほしい
自分の学校が馬鹿にされたりすると、反発する

なぜまちや社会を
良くしようとするの？

① 自分にとって社会とは生活圏、自分が快適に過ごすため。

② 人間は助けて助けられる。

③ 関わっているところが良くなってほしい。

④ 所属意識。共同体意識。小さいころ、自分の学校が馬鹿にされたりすると反発したのと同じ。

「まちや社会を良くしようとする理由」
のポイント

福祉に限定しない 理由



福祉は上からくるものではなく、支え合いがないと成立しない
安心して暮らせるまちづくり、ひとづくり
緑、鳥、花も含めて
福祉にこだわると、人間の本質と真逆
科学は幸福にしているか？
神からもらったものを、人間同士が支え合う

人をつくる 声をかけて指導して、ついてきたら幸せ ではなく、
お互い様 犯罪があるから食えている
そのおかげで幸せになっている 支え合いになっている
父の家具の工場 刑務所出身者が職人
お汁粉 その人たちが支えてくれた
人助けもしている
妊娠している人、食堂の開放など、大学に働きかけた
人間を善としてみる

福祉に限定しない

人間を善としてみる

善として言われていること、悪として言われていること

幻視がなくなった 視野狭窄に戻っている

たったそれだけで変わる

散歩怖い 感覚がない

何が治したのか いい香り 草花を植えたり 嗅覚が戻す

認知症は気づかせてくれる 病気で不便を感じる

とり方の問題 気分的に何かのスイッチが入った

今までの体験でアドバイス

人間は善

明るくなると、注目されているという感覚
「へんなやつ」と見られている
「変な時間に歩いている人」

聞いてやろう、という気持ちの人 とはコミュニケーションができる
コミュニケーションは何かを感じ取ろうと思っていないと

究極を味わうと相手のことがわかる
バリバリの現役の頃 テキ屋さんからもらう
浅草焼き 天秤担ぎ 一癖二癖ある人との交流

祖父母が育ってきた環境を知ってほしい
GHQの仕事 価値観の違い

早朝の散歩

① 福祉は上からくるものではなく、支え合いがないと成立しない。

② 私たちについてきたら幸せになれるではなく、人をつくる。

③ 人間を善としてみる。

「福祉に限定しない」のポイント

患者か利用者か



患者は心も体も預けた人
利用者はそこで何かを得る
免疫 前向きにぶつかっても生きていこう
必死だったら何かをつかめる
「どういうつもりで言ってくれているのか」
本気で医者と接する がんばっているのを医者に伝えるか
体を鍛えるために体操教室、リハビリに行っている・・・
利用者と言っているあいだは、
「もうだめ」「治したら地獄を見るぞ」
秘書課からの電話の患者は診ない
きついことを言う医者
「これは治らない」「本気で生きる」
1対1でお話ができれば、自分も救われる ズバッと聞いてくれる人

患者？ 利用者？
どう違うのか？

① 利用者はそこで何かを得ようとするが、患者は心も体も預けた人。患者ととらえたい。

② 必死になれば何かをつかめる。

③ 「治したら地獄を見るぞ」という医者 of 絶妙な言葉。

「患者か利用者か」のポイント

コロナ禍で
考えていること



天から「どうするんだ」と言われている
生きているということを軽視している
持続可能・・・原爆、原子力どうするの
私たちがどうやって生きていくのか
自分をもっと大切にす、それを表わす
笑顔でいられる、囲まれて過ごす
何が欠けているか
あいさつからスタートして、待っている
なぜ「ありがとう」がなくなったのだろう
「すみません」になってしまう
「ありがとう」悪い気がしない
人を大事にする教育が欠けていた
名簿を出せない 同窓会の発会式 中学生から
辞めた先生もつながっている
「助けて」と言えないとまずい

コロナ禍のなかで考えていること

エレベーターでたむろしている

大きな看板を挙げてしまうと、

「弱者を守りましょう」、ここまでが弱者と決めるほうがおかしい
かっこいいこと、きれいごと、すばらしいことを訴える人は、どこかで
インタビューしてくれる人が大切 本音を引き出して
マスコミは求めているものがある、それに
学生「私をダメにしたのは、父親」
「（バブルで）やりたいことをやって」

福祉という名のもとに

① 今は生きているということが軽視されている。

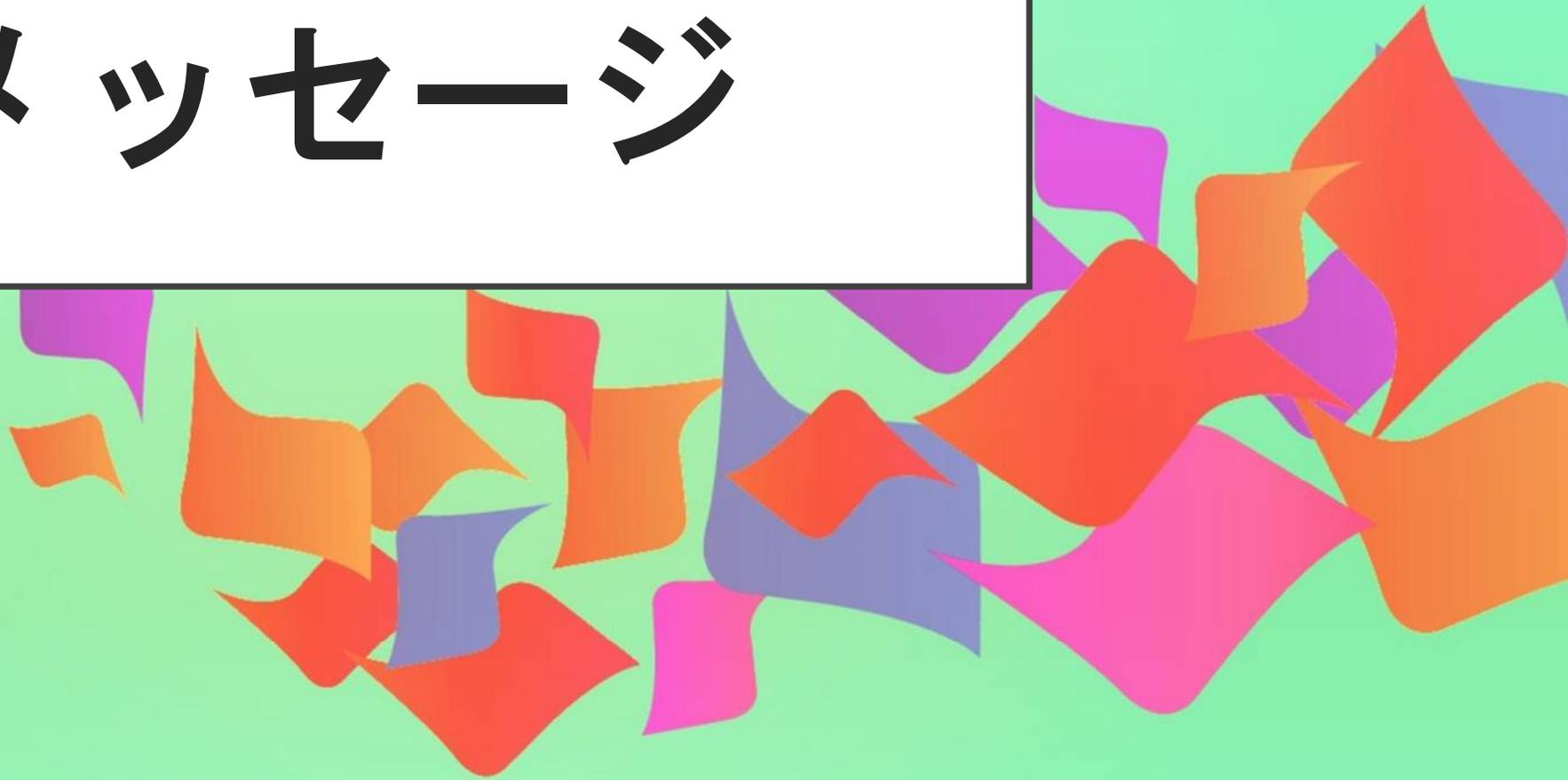
② 「ありがとう」がなくなった。「すみません」になってしまう。

③ 人を大事にする教育が欠けている。

④ 「助けて」と言えないとまずい。

「コロナ禍のなかで考えていること」の
ポイント

高齢者への メッセージ



高齢者が自信をなくしている。
間違っている、反対されるではなく、経験を話してほしい。
単純に歳を重ねている、それを伝えてほしい。
若者の吸収は早い。
宣教師をやっていたきたい。
許容範囲をもっていて引き出す。

広く高齢者へのメッセージを

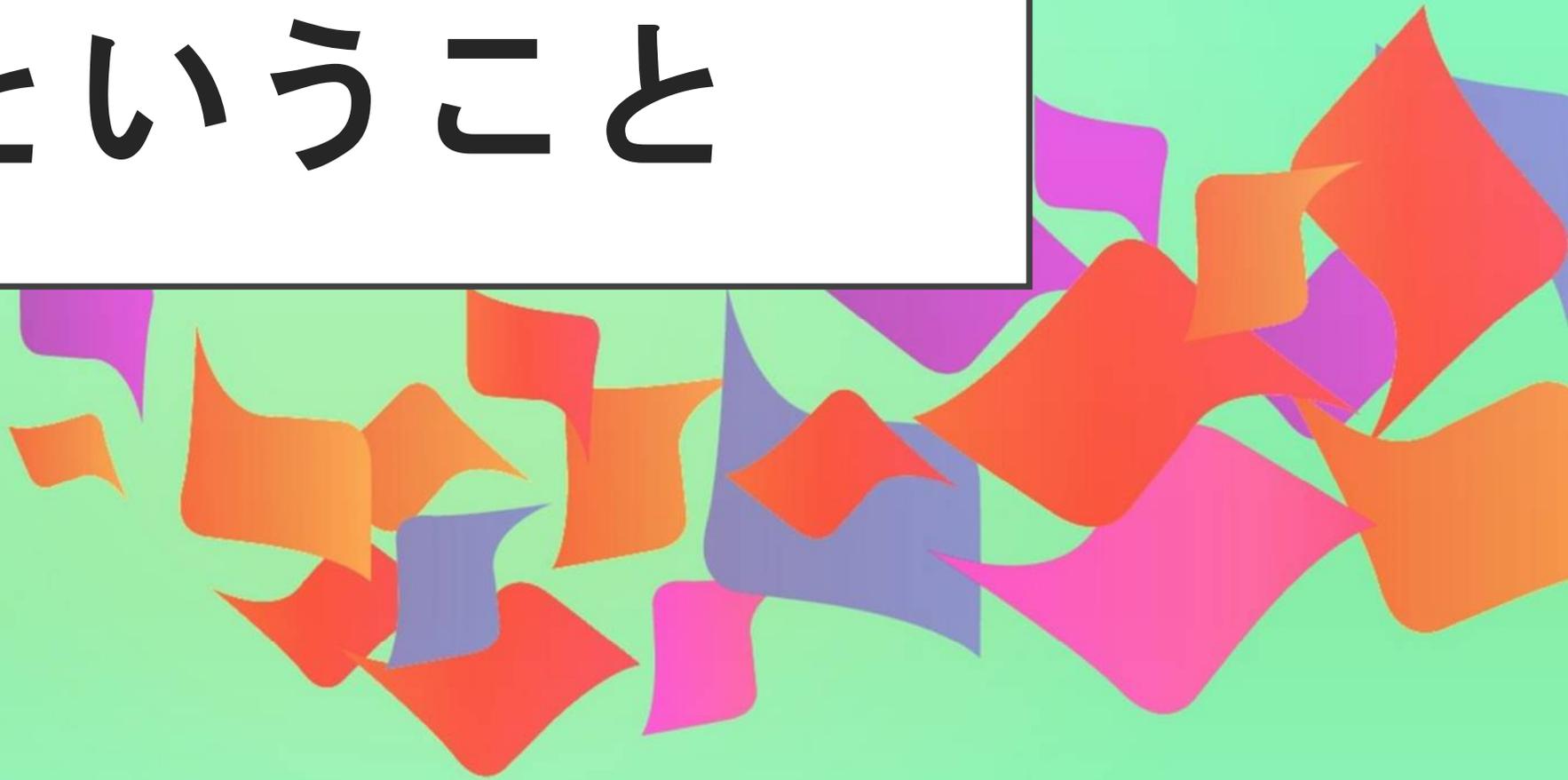
① 高齢者が自信をなくしている。

② 「間違っている、反対される」ではなく、経験を話してほしい。

③ 若者の吸収は早い。

「高齢者へのメッセージ」のポイント

自分に気づく
ということ



調子のいいときは気づかない。
父親の代から引き継いだ人たちとの交流。
先生、若 若の命は守ります。
制約なしに傲慢な生き方をしてきた。
誰かのために、何かをしてくれる。
修羅場をくぐってきた人は、人の痛みがわかる。
自分にとって大事なことは。

自分に気づくとき・・・
どのように？
それはどんな効果があったか

① 調子のいいときは気づかない。

② 制約なしに傲慢な生き方をしてきた。

③ 修羅場をくぐってきた人は、人の痛みがわかる。

「自分に気づく」のポイント

挫折に立ち向かう



挫折で潰れるなら最初からやるな。
やったら成功するというおまえが悪い。
いいことも悪いことも含めてつながっている。
挫折を怖がっていたら何もできない。
挫折ではなく、経験をした。
その経験をうまく使うかどうか。
プロレス、ボクシングジムを立ち上げる。
人の付き合い方 こうやってつながっていく。
警察官 交番にあそびに行く。
いまがあるのは、そういう人たちがいたから。
どうなるのだろう 高齢者にいずれなる。
正面から堂々と歩く人は少ない 周りがコントロールしやすい？。
若者がおだててくれればきっと走り出す。
発掘するのは教師 本人の潜在意識を引っ張り出してくれる 成長した。

挫折したとき、
どうとらえればよいの？

① 挫折で潰れるなら最初からやるな。やったら成功するという考えが悪い。

② いいことも悪いことも含めてつながっている。

③ 挫折ではなく、経験をしたととらえる。

④ 若者は、おだててくれればきっと走り出せる。

⑤ 発掘するのは教師の役割。本人の潜在意識を引っ張り出す。

「挫折に立ち向かう」のポイント

科学の進歩と 認知症患者



絶対必要だが、どう使われているかが問題。
しかし、振り回されているのではないか。
どういうプラスとマイナスがあるか。
解決は宗教か。すがるということがなくなった。
神様は天の声。自然界そのもの。

正しいことが笑顔になれるのか。
「合わせてくれる」ことが大切。たとえ嘘でもいい。
医学は大切だが、「世の中の役に立つのかな」
病気として治せる。人生を修正する。
それによって失うものもあるということを知ってほしい。
自然療法がベストかどうか。
極論 人造人間有りなのかよ。喧嘩、泣き叫ぶ、だからいい。

科学の進歩？
医療の進歩？
良くなったのか？

① 絶対必要だが、どう使われているかが問題。振り回されているのではないか。

② 正しいことが笑顔になれるのか。「合わせてくれる」ことが大切。たとえ嘘でもいい。

③ 病気として治せる。人生を修正する。しかし、それによって失うものもあるということを知ってほしい。

「科学の進歩への疑問」のポイント

つながりを失った 現在



コミュニケーション 漢字の言葉とひらがなのことばでは、違う。
ものを伝える 心ではなく信号でしかない 緑、黄色があるべき
一発での答えを求めている。それがつながらない言葉になりがち。
キャッチコピーで決めつけ 自粛も禁酒もつながらない

ありがとうという言葉がなくなった。
畏敬の念、感謝の念が消えていった。
支え合う、隣近所を気に掛けることがなくなった。
おせっかいをしてもよいのでは。
人としての原点に戻れというシグナルではないか。
すぐ警察に電話する人。
景色が変わっているように見える。
認知症だけでなく、加齢によって怖い思いをしているのではないか。
「合わせてくれる」ことが大切。たとえ嘘でもいい。
正しいことが笑顔になれるのか。

つながりを失った現在

- ① 漢字の言葉とひらがなのことばでは、違う。
- ② 一発での答えを求めている。それがつながらない言葉になりがち。
- ③ コロナ対策もキャッチコピーで決めつけているので、自粛にも禁酒にもつながらない。
- ④ ありがとうという言葉がなくなった。畏敬の念、感謝の念が消えていった。支え合う、隣近所を気に掛けるなどのことがなくなった。
- ⑤ もっとおせっかいをしてもよいのでは。
- ⑥ コロナの問題も、人としての原点に戻れというシグナルではないか。
- ⑦ 認知症だけでなく、多くの人が加齢によって怖い思いをしているのではないか。

「つながりを失った現在」のポイント

互いに無関心の 世の中



関心を持たないということは、自分も含めての連続。
存在価値、生きている価値がなくなってしまう。
自分に関心を持っていない。
自分を大切にしていない。
自分にも他者にも関心をもって、
互いに生き方を認める。
ヘルプマークに無関心。
世代間のコミュニケーションを。
帰省・・・できない、しない風潮に異議あり。
見て見ぬふり。住みにくい。コロナが口実。
自分たちで自分たちの命を守れ、というメッセージ。
弱気にはなるが。

互いに無関心の世の中について

① 人に関心を持たないということは、自分も含めて。存在価値、生きている価値がなくなってしまう。

② 自分を大切にしていない。

③ 自分にも他者にも関心をもって、互いに生き方を認める。

④ 見て見ぬふり。住みにくい。コロナが口実になっている。

「互いに無関心の世の中」のポイント

相互理解と いうこと



難しい

相手を信頼する。無条件。

なんだかわからないが、お前を好きだ。

最後は信じるかどうか。

馬鹿が好きだ。

説き伏せる。理解してもらおう。

わかってくれない人は、わかってくれなくてよい。

共鳴はしないけど、協力はする。何かを求めている。

便利な部分を求めている。金がもうかるから。

百も承知でのってきた。その人を通して、喜ぶ人がいたとすれば、

俺ができないことを、相手がやってくれたのだから良しとする。

そうしないと前へ進めない。

汚いこともあり。きれいごとだけ並べては、ありえない。

歳が来たからやめるという政治家、承知でなったはず。

相互理解ということ

曲がった道でもいい、という人が増えている。
手伝って、とは言わない。
選択肢がある中で、選択の基準を持っていない。
先生になる気概を持つ人がいなくなった。
尊敬していた。 家庭教育の変質。
保護者と親の違い。 親ならからだをはってでも守る。

「くそじじい」が増えて良い。

個人の意思を尊重する なぜ、そうなったかという過程
原爆一発で終わり

相互理解ということ

① 最後は信じるかどうか。

② 共鳴はしないけど、協力はするという人もいる。何かを求めている。

③ 保護者と親の違い。親ならからだをはってでも子を守る。

「相互理解」のポイント

介護・認知症の家族 と歩む会について





介護・認知症の家族と歩む会フェスブックより

介護・認知症の家族と歩む会 について

「支え合っ て生きる」 ということ について

こうあってほしい
声さえかければやってくれる
若いときにやってくれれば
組織嫌いの若者が一人でもいて
くれたらいいなあ
老老介護 絶対の条件
いずれ助け合わないと生きてい
けない
「わたしでいいですか」
大きな声で言うなよ。

サポートが必要な人

「言われないとわからない」という言葉
手助けが必要な人はいる。気持ちだけでも言ってくれと。
心寂しい。
自分がなったとき、どう考えるか。
いまになって感謝する。

こういう機会。疲れる。普段と違う。
こういう人がいたら、快適。
おせっかいが必要。
パートナー協議会。ペット。

歩む会について

① 支え合って生きる。

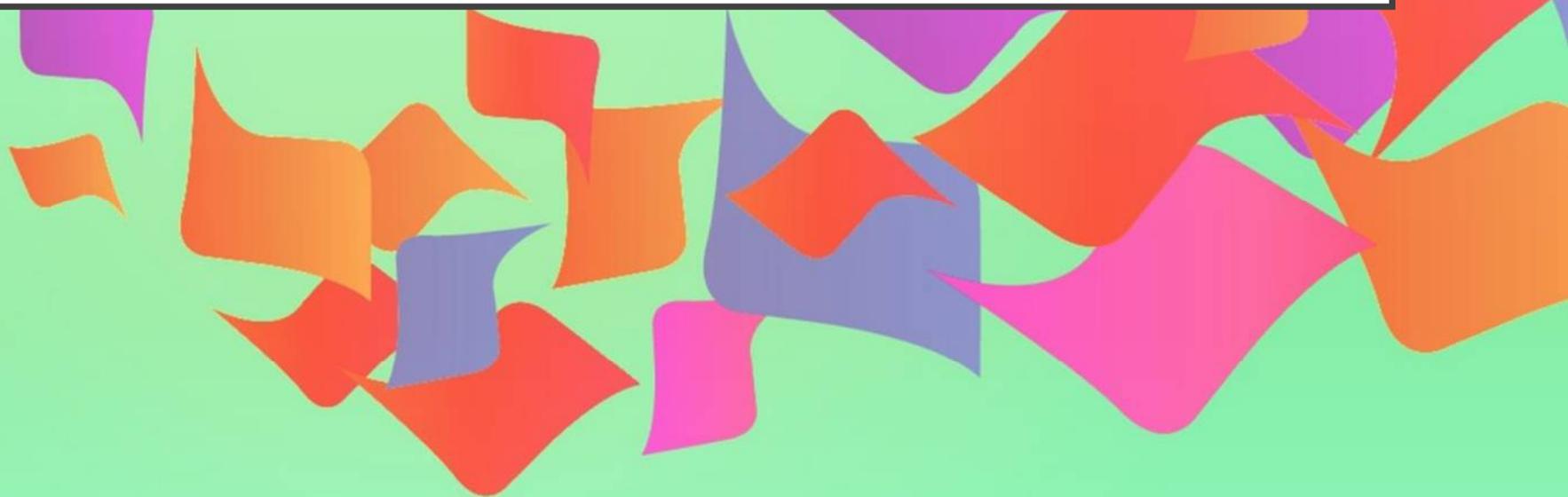
② 声さえかければやってくれる。

③ 今後は、老老介護が絶対の条件になる。

④ 今の若者は期待できる。

「歩む会活動」のポイント

社会は良くできるのか



社会は個人間のつながり。
仰々しく社会と言っても、人によって大きさが違う。
自分を大切にできる人が集まったら、世の中は変わる。
学生相手にしゃべっていると、素直だと思う。
大人はこうあるべきだ、というのが、社会の役に立っているのか。
自然が作った自然、世間という掟。
人間の作った自然とは違う。細工しすぎている。
コロナは警告。
脳細胞が元に戻る。

町会が大切。
町内にいるのは高齢者と小中学生。
高校生と大学生に、外からの情報を町内に入れてほしい。

社会を良くすることはできるのか

① 社会は個人間のつながり。仰々しく社会と言っても、人によって大きさが違う。

② 自分を大切にできる人が集まったら、世の中は変わる。

③ 学生相手にしゃべっていると、素直だと思う。

④ 自然は人間の作った自然とは違う。後者は細工しすぎている。

⑤ 町会が大切。町内にいるのは高齢者と小中学生。そして、高校生と大学生に、外からの情報を町内に入れてほしい。

「社会は良くできるのか」のポイント